

7 生ごみの分別資源化開始後の広域処理による財政効果

逗子市と葉山町は、生ごみ資源化の共同処理を行う計画であり、2024 年度（令和 7 年 3 月）から、生ごみ分別収集を開始し、葉山町に設置予定の施設で生ごみの資源化を開始する予定です。

また、2025 年度（令和 7 年度）から鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画（以下「広域化実施計画」という。）に定めたスケジュールに従い、鎌倉市からの可燃ごみを逗子市の焼却施設で受け入れ、年間合計焼却量 20,000 トンの範囲で焼却を実施していく予定です。

広域化実施計画に従って、生ごみの分別資源化を開始した後の 2025 年度（令和 7 年度）逗子市概算試算額と 2020 年度（令和 2 年度）の決算数値を比較し、財政効果を試算しました。

【試算条件】

2020 年度（令和 2 年度）

ごみ焼却量、各市町負担額：令和 2 年度決算数値

2025 年度（令和 7 年度）

ごみ焼却量、各市町概算負担額：広域化実施計画

生ごみ資源化経費：葉山町概算積算単価×生ごみ資源化量（広域化実施計画）

生ごみ収集運搬経費：事業者概算見積りをもとに算出

【財政効果】 年間の財政効果額は 1 億 3,000 万円程度と試算されます。

表 11 財政効果

（千円/年）

	2020 年度（令和 2 年度） 決算数値	2025 年度（令和 7 年度） 概算試算額	財政効果
逗子市負担額	423,745	291,279	132,466

表 12 2020 年度（令和 2 年度）可燃ごみ共同処理決算数値

	ごみ焼却量（t）	負担金（千円）
逗子市	11,307	423,745
葉山町	5,560	208,271
合計	16,867	632,016※

※資料編 26 ページ参照

表 13 2025 年度（令和 7 年度）負担金試算（広域化実施計画）

	ごみ焼却量（t）	負担金（千円）
鎌倉市	8,914	263,975
逗子市	7,970	236,020
葉山町	3,116	92,276
合計	20,000	592,271※

※資料編 26 ページ参照

表 14 2025 年度（令和 7 年度）概算試算額

試算額内訳	金額（千円）
逗子市焼却負担額	236,020
生ごみ資源化経費	32,659
生ごみ収集運搬経費	22,600
合計	291,279

生ごみ資源化経費：18.9円/kg×1,728,000kg=32,659千円

令和4年2月7日

葉山町・逗子市広域生ごみ堆肥化処理コスト(プロポーザル結果後試算)

○基本コスト(税込)

処理費	(円／年)	備考
①需用費(薬剤)	2,162,600	プロポーザル参考金額で試算
②燃料・ガス	5,067,700	
③電気代	9,924,200	
④水道・下水道	6,913,500	
⑤施設修繕	3,383,600	
⑥堆肥成分分析	70,492	同処理方式の他事例参考
⑦堆肥放射能分析	14,850	
⑧臭気濃度測定	429,000	
⑨人件費(作業員2名)	15,871,884	葉山町清掃作業員人件費平均
計	43,837,826	

資本費	金額	交付金1/3
①再整備工事費	482,066,139	160,688,000
②生活環境影響調査	3,586,000	1,195,000
交付金控除後の合計	323,769,139	
15年割試算後の年間資本費	21,584,609	

○想定される処理費及び資本費(令和元年度実績試算)

分別協力率(%)	100	90	80	70	60	50	40	30
生ごみ量(t/年)	4,945.5	4,450.9	3,956.4	3,461.8	2,967.3	2,472.7	1,978.2	1,483.6
処理費(円/t)	8,860	9,840	11,080	12,660	14,770	17,720	22,160	29,540
資本費(円/t)	4,360	4,840	5,450	6,230	7,270	8,720	10,910	14,540
計	13,220	14,680	16,530	18,890	22,040	26,440	33,070	44,080

○想定処理単価

プロポーザル結果により想定される処理単価は次のとおり、逗子市と葉山町で確認した。

処理費	12,660	円/t
資本費	6,230	円/t
計	18,890	円/t